

# 職員研修報告

令和 元 年度

(社会福祉法人尚徳福祉会)

参加者名

研修名	法人研修 乳幼児の発達について、発達障害について
主催者	社会福祉法人尚徳福祉会
日時	2020年2月1日 (土) 15:00~
会場	AP市ワ谷 C1000
講師名	お茶の水女子大学 名誉教授 日本子ども学会理事長 榊原 洋一 先生
参加人数	約 200 名

## 研修内容と今後の課題

### <子どもの発達>

・身体発達、心の発達

- ① 社会性の発達
- ② 言葉の発達
- ③ 臨界期と愛着関係
- ④ 良い保育の質とは
- ⑤ 保育環境と子どもの発達

### ① <子どもの社会性の発達>

今までは認知的な発達ばかりだったけれど、今は

**社会性**を主に考える。

→ 新生児模倣 (ミラーニューロン)

子どもは顔をよくみている。

共同注意 (三項関係) → 心の発達に  
・2人で共通のものをみる。 → 関係

4才~5才 相手の気持ちわかる  
→ 他人と自分の区別がわかる

3才ごろ... 単純な制止がわかる

### ② <言葉の発達>

生まれつき言葉がわかる → 言語遺伝子

女の子の方が言語発達早い

### ★子どもの豊かな言語環境

・子どもがどのくらい言葉を耳にするか (1h → 700~800ワード)

言葉のシャワーをあげると言葉がわかる  
幼稚園-保育園に入ると子ども同士の言葉の関わりで言葉が覚えていく。

### ★子どもは文法を自分で理解する。

助詞 → 3才ごろからわかる

(ちが) (や) だた かに (は) させた → 助詞への  
気が

マザリーズ → ゆっくり 高めの声を自然と子どもに対して出す  
大人が

### ③ <臨界期と愛着関係>

インソレングは人間の赤ちゃんには関係ない、  
人間の愛着関係は長い時間を経て結ばれる

### ★ 養育神話

人間は数人の大人と愛着関係がとれる。

(父・母・保育者 etc...)

顔、雰囲気、匂い... 落ちつく

### ④ <良い保育の質とは>

・質の良いケアを受けた子は

・高い社会能力が身につく。

・15歳頃の顕在化問題行動が少ない

・言語発達を促進

### 養育者の

センステイビリティが大切 → 感受性が発達

### ★ 自己肯定感はどのように育つのか

や、た、ー、できた!! → やる気が育つ

( - 他人からの承認、支援

( - 本人にとって重要な領域における能力

女子：外見・社会的行動  
男子：能力  
自己肯定感が  
あがる  
因子

Mチャット → 親のフィルターがよってしまい診断があまり  
あり

### ★自己肯定感の考え方

・自己肯定感<sup>は</sup>幼児期は他者に依存するが次第に  
自分自身の認識により決定される。

・低い自己肯定感 だけでなく 高い自己肯定感  
も社会的な不適応につながる。  
(自分の能力に合った自己肯定感を育てる)

・思春期以降の自己肯定感(は)他者に依存する  
と人格障害につながる。

日本とタイの自己肯定感(は)低め → 文化的なもの(?)

自己肯定感とその後の幸福度は別モノ?  
(自己主張) ... 謙遜は自己肯定感と逆。  
国民性も関係している...?

### ＜発達障害について＞

★発達障害は複数の障害を念んだ「総称」  
(学習、多動... etc...) (障)は(病)の略字

障害の「害」=「碍」=「石礙」みんな同じ

### ★発達障害の理解が困難な理由

確定診断のための検査法がない  
→ 専門医でも異なることがある。

知能と発達障害は別モノ

ADHD、ASD、LD 等発達障害 (知的障害)  
・生まれつき (遺伝的) ・併存する (合併)  
・男児に多い、クラスに2人はいる、罹病率が高い  
・小児で顕在化するが大人になっても残存する (注意等)

### ★注意欠陥多動性障害 (ADHD)

↳ 2次障害になりやすい (うつ病)  
・いじめられやすい 逆に ADHD がない子は相手のきこる音が  
かきこいこと相手のいやなことばかりかきこる。いじめる。  
コンサータ服用 (1) 0点 → 95 (2) 8点 → 57点  
理解力があがる。

### ★女性の ADHD

・多動・衝動が少ない → 不注意が強い  
・夢見がち 気がつかない (ドリーミー)  
・女性特有の困難 (出産・育児)  
・2次障害の特徴 (うつ、自殺)  
女性用の診断の必要性あり...?

### ★自閉症 (ASD)

・社会的イマジネーションがない  
・よけとり、出すことができない どうして良いかわからない  
対人的・情緒的相互性の欠如

### ★診断基準

・異常なこだわり、感覚かびん、言葉のおかし

マスパーカー ≠ 社会 (語用論的) コミュニケーション  
障害

異常なこだわり、くり返し行動がない

★モフアード 知能テスト、芸術において並外れた  
(児) 才能も

11歳13歳までの70% 社会性はまだまだ育てない。

### ＜今後の課題＞

... 子どもの社会性を育てるために

・よりよい言葉を吸収できるように子どもが  
耳にする言葉に注意する。

・子ども達は「顔」をよく見ているので  
プロ意識をもって笑顔を保つ。

・子ども達と愛着関係を結び、国民  
性もある程度よい自己肯定感が  
育つよう、子どもの「やった」「できた」に  
共感し、うけとめていく。

... 発達障害児と関わる上で

・長い時間を過ごす保育者だからこそ  
気づくその子の生きづらいつらさを  
見のがさず、誤診につながら  
ないようにする。